

別紙 2

企業合同〈金融機関対象〉「キャラバン・メイト養成研修」カリキュラム

■開催日時■ 2026年6月5日（金）13：00～17：00

オンライン【Zoom ミーティング】

■講師■ 木村 誠（福祉事務所ランタン代表）

内容	目的	標準時間	テキストの該当章
I オリエンテーション 1 認知症サポーターキャラバンとは	認知症サポーターキャラバン事業展開の趣旨を理解する。	20分 うちビデオ15分 (13:00～13:20)	序章 (事務局)
II 認知症サポーターに伝えたいこと 1 認知症を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症とはどういうものか？ ・ 認知症の症状 ・ 中核症状 ・ 行動・心理症状とその支援 ・ 認知症の診断・治療 ・ 認知症の予防についての考えかた ・ 認知症の人と接するときの心がまえ ・ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する 	①認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている家族をどう支援したらよいかを理解する。 ②認知症サポーター養成講座で、キャラバン・メイトとして、サポーターへの伝え方について学習する。	(13:20～15:20) 120分 (休憩10分)	第1章 (講師)
III 認知症サポーターのできること 1 認知症サポーターのできること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や職域において、自分ならどのようなサポートができるのかを考えてみる。 ・ 認知症サポーター活動促進事業「チームオレンジ」の意義を理解する。 	(15:20～15:40)	第2章 (講師)
2 認知症の人を地域で支える こんなとき、どこにつなげたらいいか考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人を地域で支える視点を理解する。 ・ 認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。 ・ 地元の地域包括支援センターの調べ方を知る。 	20分	第3章 (講師)
3 現場の対応を学ぶ 演習 顧客との間に想定される事例や事例ビデオをもとに、対応の仕方を学習 ① 職員が困惑するような事例を視聴。 ② グループごとに、問題点、適切と思われる対応例について討議。 ③ グループ発表（「悪い対応例」「望ましい対応例」の違いなど） ④ 講評、まとめ	事例ビデオの視聴等を通じて、どのような対応の仕方が望ましいのかグループに分かれて討議。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各々の職種ごとの現場で想定される認知症の人との対応事例に即してグループワークを行い実践力を身につけて、サポーター養成講座の講師を務めるときに役立てる。 	(15:40～16:50) 70分 (休憩含む)	第2章 (48ページ) 『認知症の人への対応ガイドライン』 (講師)
IV キャラバン・メイト登録について キャラバン・メイト登録 認知症サポーター養成講座計画表・報告書の仕組み 認知症サポーター養成講座の時間数について	企業内キャラバン・メイト活動の留意事項を理解する。	10分 (16:50～17:00)	(事務局)